

# 萩野選手、4種目で優勝

## 池江選手は女子初の5冠



400メートル自由形決勝で力泳する萩野選手

### 競泳日本選手権

競泳の日本選手権は4月13〜16日、名古屋市の日本ガイシアリーナで行われ、プロ転向した萩野公介選手は200メートル自由形、400メートル自由形、200メートル背泳ぎ、200メートル個人メドレーの4種目で優勝した。萩野選手は昨年9月に受けた右肘手術の影響で調整が不足。昨夏のリオデジャネイロ五輪で金メダルを獲得した400メートル個人メドレーは、0秒01差で瀬戸大也選手に敗れ、2位に終わった。苦しみながらも4冠を達成した大会を、「タイムには満足できていない。今の僕への全力は尽くせた。精神的に強くなった」と振り返った。



日本新記録で優勝し、笑顔を見せる大橋選手

16歳の池江璃花子選手は女子選手として初めて5種目で優勝。女子400メートル個人メドレーは大橋悠依選手が4分31秒42の日本新記録で初優勝した。萩野選手や瀬戸選手、池江選手、大橋選手ら男女18人が、7月の世界選手権（ハンガリー・ブダペスト）の日本代表に選出された。



大会5冠を達成し、喜ぶ池江選手

# 王子谷選手が2連覇

## 柔道全日本選手権



決勝でウルフ選手(手前)を下し、優勝した王子谷選手

体重無差別で男子柔道日本一の座を争う全日本選手権は4月29日、世界選手権（8月28日開幕、ブダペスト）の100キロ超級代表選考会を兼ねて東京・日本武道館で行われ、王子谷剛志選手が決勝でウルフ・アロン選手を下し、2年連続3度目の優勝を果たした。王子谷選手は決勝で、東海大の後輩に当たるウルフ選手に圧力をかけ続け、延長戦で相手に通算二つ目の指導を受けて優勢勝



相手と組み合う大野選手(手前)

ちした。大会連覇は2004、05年大会を制した鈴木桂治さん以来。2年ぶりの優勝を狙ったリオデジャネイロ五輪100キロ超級銀メダルの原沢久喜選手は3回戦で敗退。リオ五輪73キロ級金メダルの大野将平選手は初戦の2回戦で敗れた。

# ライギユアスケートに恩返しを

## 浅田選手が引退会見



引退会見を行う浅田選手

フィギュアスケート女子の浅田真央選手が4月12日、東京都内で記者会見を開き、「選手生活を終える決断をいたしました」と述べ、引退を表明した。会見では晴れやかな笑顔で競技人生を振り返ったが、最後は涙ぐんで声を詰まらせていた。引退後については、「どんな形であって、ライギユアスケートに恩返しできる活動をしていきたい」と話した。浅田選手は15歳でシニアデビュー。高難度のトリプルアクセル（3回転



ソチ五輪、フリーの演技を終えた浅田選手

半ジャンプ）を武器に活躍した。世界選手権で3度、グランプリファイナルは4度優勝。2010年バンクーバー五輪は銀メダル、14年ソチ五輪は6位だった。

### JAPAN RISING STAR PROJECTがスタート!

#### JAPAN RISING STAR PROJECT

**対象競技**  
【オリンピック競技】  
水泳(飛込)、ボート、ウェイトリフティング、ハンドボール、7人制ラグビー(女子)、自転車、ソフトボール(女子)  
【パラリンピック競技】  
ボッチャ、水泳、パワーリフティング、車いすフェンシング、自転車

**選考フロー**

第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
エントリー受付期間	選考	選考
平成29年6月1日～7月2日	平成29年7月下旬～9月中旬	平成29年11月～



日本体育協会は、4月、全国の将来性豊かなアスリートを発掘するためのプロジェクト「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト」を開始した。オリンピック競技は中学・高校生、パラリンピック競技は中学生から30歳代までを対象に、全国各地で測定会を実施。その後、有望なアスリートには、各都道府県で行われる合宿形式のトレーニングで、世界レベルの指導者による指導を受けることができる。